

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 4月 13日

都道府県知事 殿
(市長)

提出者

住 所 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平 3・1

氏 名 株式会社 北海道日高牧場 階上ファーム

代表取締役 菅 原 一 範

電話番号 0178-88-2870

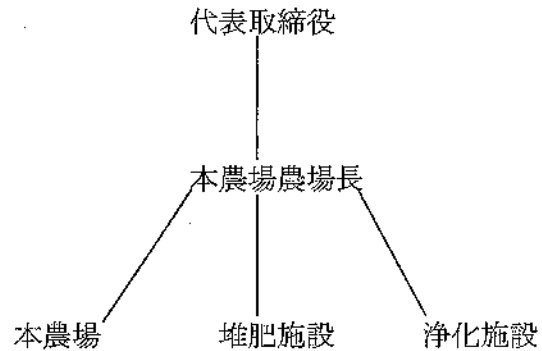
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 北海道日高牧場 階上ファーム
事業場の所在地	青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平 3・1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	畜産業（養豚一貫経営）
② 事業の規模	母豚 432頭 肥育豚 5650頭
③ 従業員数	9名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・糞 豚舎→堆肥化施設→農家へ提供（堆肥） →堆肥化施設へ（戻り堆肥） ・尿（糞を含む）豚舎→浄化施設→堆肥化施設へ（脱水汚泥） ・（家畜の死体）豚舎→死体の保管場所→委託業者

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	糞 6167 t 尿 11391 t	50.4t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	糞 6167 t 尿 11391t	50.4t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
-----	----------------------------

	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	393.5t	180t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	393.5t	180t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5773.5t	11211t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞	家畜の尿
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	5773.5t	11211 t

		自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	豚の死体		
	全 処 理 委 託 量	50.4t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50.4t		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t		t

		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	50・4 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50・4 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			